

府民の願いをまん中に 役割はたす自治体を



9.26府議会開会日の府庁包囲ランチタイムパレード
「カジノより、府民の暮らし最優先!」

18秋闘 仲間ふやし生活改善と人員増を勝ち取ろう



大阪自治労連 18秋の組織・共済拡大大交流会 (10月5日)

大阪自治労連は、18秋の確定闘争で、組織を強く大きくする取り組みと、職場要求・生活改善を実現するたたかいをすすめています。

大阪経済や暮らしの実態は全国と比べても深刻な落ち込みとなっています。維新府政10年間で福祉や医療費助成などの府民施策をバッサリ削ってきたことが要因です。今こそ、すべての組合員が声をあげて、住民と働く者のねがいに応える自治体づくりをめざしましょう。また、仲間をふやし、誇りを持って働ける職場と、安心してらせる賃金・労働条件の改善を勝ち取りましょう。



第2弾(9月7日~8日)には、20人が参加

大阪府職労は、7月の西日本豪雨災害の救援カンパに取り組んでいます。そして、8月に第1弾、9月に第2弾の「西日本豪雨」救援ボランティア行動を実施。倉敷市真備町で支援活動を行いました。20歳代の青年から60歳代のシニア世代まで、のべ45人が参加しています。

西日本豪雨災害ボランティアレポート 大阪府職労

役に立ってうれしかった
まだ
まだ
支援が必要と感じた

温かい炊き出しや
あてもんが好評

第2弾は、9月7日午後到大阪を出発し、夕方に避難所へ向かい、夕食時間に合わせて、豚汁・たこ焼きの炊き出しに加え、あてもん(くじ引き)、かき氷も提供しました。避難生活が長引いているみなさんや学校から帰ってきた子どもたちに大変喜ばれました。

「困ったことはありませんか?」500軒を訪問

翌日8日は、悪天候のため、倉敷市ボランティアセンターの受け入れが中止となり、急きよ「災害対策・被災者支援岡山県連絡会」のみなさんと一緒に、被害の大きかった真備町岡田地区へ入り、住民のみなさんへ「困ったことはありませんか?」と声をかけながらチラシ

「初めてたこ焼き食べました」
など喜びの声が続々



あてもん、は、子どもたちに好評でした

昼食時には、再度炊き出しを

を配ってまわりました。大雨の降る中でしたが、手分けして500軒を訪問しました。住民の方は「ありがたいございます。困ったことがあったら連絡します」と応えてくれました。「早速、当日に2件の相談が支援センターにありました」とお礼の連絡をいただきました。

参加者の感想

- まだまだ支援が必要。炊き出しで笑顔になれる瞬間が提供できたことが本当に支援につながっていると思った。
- 何ができるか不安があったけど役に立ってうれしかった。道路はきれいになって家の中がポロポロでショック。炊き出しはたこ焼きも喜ばれた。次も参加したい。
- 地元自治体の予算や人員が足りないことを感じた。

行い、カレースープやコンソメスープ、たこ焼き、ジュースなどを提供しました。避難されている方からは「また来てくれたんですか!とても元気をもらえました」「初めてたこ焼きを食べました。とてもうれしい」など、喜びの声がたくさん寄せられました。

府職労は引き続き、被災者支援に取り組みます。